

事業報告概要書（公表版）

公表様式

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
多摩部の公園グループ		(指定管理者名) 多摩部の公園パートナーズ			
		(団体の概要) 代表者：西武造園株式会社			
指定期間		構成員：特定非営利活動法人 NPO birth、ミズノスポーツ株式会社			
R5.4.1～R10.3.31（5年間）		一般社団法人 防災教育普及協会			
2 施設名					
陵南公園、小宮公園、滝山公園、大戸緑地					
3 管理運営の概要					
これまで当公園グループの指定管理者として培ってきた地域との信頼関係、ノウハウを活かし、各公園の個性、ポテンシャルをさらに掘り起こし、磨き上げ、新たな価値を生み、今まで以上に地域とともに成長する公園づくり「GrowingParks」を進め、地域全体の「成長と成熟」を牽引する取組みを実施。 陵南公園では、誰でも気軽に運動を楽しむことができる「チャレンジキャラバン」を初開催。親子DEヨガ教室や親子DE運動遊び教室など、7つのプログラムで地域住民の健康増進に貢献。 小宮公園では、高齢者の「生きる活力」を引き出す「青空体操①小宮公園」を高齢者包括支援センター、地域病院、公園の三者連携実施。参加者が倍増。秋には規模拡大した特別版実施、大盛況。 滝山公園では、自治体、地元歴史NPOとのパークミーティング連携で実施した「遺構を見せる維持管理」により、堀や土塁等の遺構の見どころを際立たせ資源の価値を高めるとともに連携イベントでも有効に活用。 大戸緑地では、森の魅力を活かした自然体験イベント「冬開きDAY」を地域とともに企画運営。冬のイベント初開催であったが新たなニーズを捉えた。					
4 管理状況（維持管理）					
【1.適切な維持管理を行うための取り組み】 全公園で専門家による定期施設点検、パークスキャン、樹木の一斉点検、樹木区による診断を実施。問題の早期発見に努めた。また「パークモニタリングアプリ」を活用し、過去作業、問題個所のデータベース化、デジタルデータ予防保全システムの活用を継続。陵南公園ではビルクリーニング品質インスペクターによる建物清掃評価を実施。高い評価で安全な衛生環境を維持できた。小宮公園では遊具広場の複合遊具改修、バンプ改修など計画的に予防修繕を実施し、利用者に快適に利用サービスを提供した。滝山公園では今回新たに滝山城跡群・自然と歴史を守る会、八王子市観光課など合計11名による現地意見交換を行い、遺構を見せる維持管理計画を更新。特に見所となる馬出を中心に二の丸・引橋・中の丸への城門址などの急斜面草刈を実施。「滝山城最大の魅力である二の丸防衛ラインの輪郭がはっきりと見えるようになり、ガイド時の説明にも説得力が出る」「関係者とコミュニケーションが上手に取れ、希少種等によく配慮した作業をしてもらえた」など多くの評価の声をいただいた。大戸緑地では、開園予定区域付近の住民からの要望を受け、約600㎡の林床整備を実施。見通しが良い樹林地となったことでグマの隠れ場所をなくし、森林火災の延焼予防など安全安心な園内環境の提供ができた。 【2.事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応】 大量発生したナラ枯れに対し、園路沿いを中心に複数回の被害調査を実施。4公園計500本以上の被害木の中で園路付近の木を優先的に約400本以上処理し安全な園路提供につなげた。陵南公園では長年の課題であった根上がりの段差解消工事を実施。当該園路はケヤキの成長による根上がりで段差が出来ており以前より注意喚起を行っていた場所で、バリアフリー化を推進し段差による転倒事故を未然に防止することで来園者が安全安心に利用できる公園環境の提供ができた。また、園内のケヤキ等の樹木61本の剪定も実施し、落枝や倒木を未然に防ぐため処理を実施した。 【3.要望対応や施設補修、施設改良への取り組み】 利用者や近隣住民から広く意見を収集し、PDCAにより迅速、適切に処置。陵南公園では、住民要望のあったヒマラヤスギ26本の剪定作業を実施した。樹形を美しく整えながらも日照障害などの住民要望などに迅速に対応することが出来た。小宮公園では、正面入り口の高木剪定を24本実施。通学路が明るくなったことで学生達の防犯対策に貢献することができた。 【4.丘陵地特性をふまえた植生管理】 小宮公園では、花の見どころ作りのための協働保全地区を園内22か所に設置し計画的な保全作業を計画。ワダソウは広さ150㎡×20㎡の範囲、ヤマトラノオは40㎡×50㎡の範囲で落ち葉掻きやエコスタック作りを実施した。春の開花の期待が高まり、ボランティアのモチベーション向上につなげることもできた。滝山公園では、人道橋付近のツリフネソウ、ミズタマソウなどの在来植物の保全を実施。令和2年からボランティア協働でオオブタクサの除草を行っており、すぐ近くからバイオニア樹種であるクサギを12本移植。日陰を作り、在来湿性植物の協働保全地とした。この秋、ツリフネソウの開花は過去最高となり、花のみどころとして楽しめる場所となっている。大戸緑地では、センブリやオトコエシ、ウマノスズクサの自生地にて、草刈り前にマーキングを行い、維持管理部と調整し草刈時に刈り残したことで、豊かな環境を保護し生物多様性の向上へ繋げることができた 【5.公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え】 グリーンインフラの視点を踏まえ、各公園の特性を活かした風景を保全・創出する維持管理を実施。継続的な自動芝刈機の稼働を実施。芝を一定の刈高に保つことができ、草刈回数が減少することで作業時のリスクが軽減された。さらに少量の刈草は肥料となり、導入前と比べ芝が緻密となり生育が良くなっている。滝山公園では、信濃屋敷からの眺望伐採を実施。坪島大師や多摩川が、より見渡せるようコナラや支障木を伐採し、新たなビューポイントを創出することが出来た。大戸緑地では、昨年度に引き続き「山桜のおか」「大戸のおか」計約1200㎡範囲の林床整備を実施し、頭頂部から山向こうの景観が望めるようになりより楽しめる場所となった。					
5 利用者アンケート結果					
実施方法：					
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
陵南公園	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6
小宮公園	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5
滝山公園	4.6	4.4	4.5	4.5	4.8
大戸緑地	4.7	4.4	4.8	4.5	4.5
6 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
陵南公園	499,430	多世代型交流イベント「ここからSmile FES」地域住民の健康増進を図る「さわやかノルディック・ウォーキング」を昨年に引き続き開催。地域施設や地域団体との連携を発展させることができた。また、秋に行われた地域イベント「八王子いちよう祭り」では公園プログラムを実施し、緑の空間を利用した【陵南ピクニックガーデン】を展開。利用者にリラクセスできる場を提供した。イベント全体では前年の約2倍の動員人数となり、多くの利用者に公園の魅力を発信することができた。冬には希少種の保全を目的とした、親子参加型イベント「生き物レスキューDAY」を開催。近隣の学校等への広報を行い、広く周知することができた。また、季節の情報発信など積極的にSNSで発信、来園者の増加に繋げることができた。			
小宮公園	234,517	昨年度と比較すると、来園者は年間を通して減少しているが、世代を問わず楽しめる季節イベント「四季＊はなワードラリー」や「花摘みイベント」は好評でリピーターが多く、今年度も多数の参加があった。また、高齢者を対象としたイベント「青空体操」の拡大版として「あきいろフェス」も初開催したことでイベント参加者は増加している。今年度は新たにInstagramの運用を始め、公園のイベント情報や自然情報を細目に発信し、新規来園につなげた。			
滝山公園	64,289	昨年度と比較すると、来園者は年間を通して減少しているが、団体利用件数が年間を通して増加している。今年度は滝山城跡文化協会主催の「滝山城跡桜まつり」が4年ぶりに開催され、2,000人の参加があり大変賑わいを見せた。また、秋恒例となった地域連携イベント「滝山城カフェ」や、子どもたちの体力向上を目的としたスポーツイベント「忍者になって滝山城跡をたのしもう!」を継続して実施していることで公園の魅力が来園者に伝わり、歴史ファンのみならず、散歩やウォーキングなど、イベント時以外の利用者も増加した。			
大戸緑地	2,454	緑地の新たな魅力を体験する「パークストレッチ」「はじめてノルディックウォーキング」、深山の魅力を体験する「大戸冬開きDAY」を開催。近隣施設と地域団体と連携を行い、公園の魅力を伝えることができた。また、地域の緑地活用イベント「ずしまちいち」に出展し、公園のPRを行った。周辺マップなどを配布することにより、知名度アップに貢献できた。SNSでの季節の情報発信、センサーカメラにて撮影された野生動物の映像、ドローンにて上空から撮影した緑地の動画などを積極的に発信、大戸緑地の魅力を幅広く伝えることができた。			
合 計	800,690				

都立 陵南公園



＜目標と取組方針(陵南公園マネジメントプランより)＞

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・自然と触れ合える場となる都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
- ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

健康
スポーツの拠点

【所在地】八王子市
【開園面積】6.0ha

■《健康・スポーツの拠点》人も緑も地域も元気になる交流型ヘルシーパーク

東京2020大会のレガシーを継続、スポーツによる健康増進の拠点に！

1

ミズノスポーツ参画により充実したスポーツプログラムを展開！
地域団体との連携も強化！多世代型ヘルシーパークとして更なる発展へ！



身体のヘルシー

■わくわくスポーツプログラム

多世代向けのプログラムを実施！

「都立陵南公園 チャレンジ★キャラバン」

初

■誰でも気軽に運動を楽しむことができる「チャレンジキャラバン」を初開催！親子DEヨガ教室や親子DE運動遊び教室など、7つのプログラムで地域住民の健康増進に貢献！



のべ142人
が参加！

- 多くの子連れ家族にも楽しめる場所を創出することができた
- スポーツイベント開催によって地域住民と会話する機会が増え、日常の運動・生活の悩みや要望にアプローチ！！
- 当日参加可能にすることで興味を持った人が参加できるヘルシーイベントとなった

／第2回！多世代と！地域と繋がる交流フェス！／

出展団体増加！地域の約25団体と連携！
地域と一緒に成長した「ここからSmileFES」

陵南公園でココロもカラダも元気になろう！

のべ1,095人
が参加！



- 幼児～高齢者、障害を持った方まで多世代が参加し、交流を楽しみながら健康になれる機会を提供！
- 地元で活躍する団体やアーティストによる新プログラムを展開！地域と繋がりが参加者増加に寄与！
- 地域の大学、高校などのボランティアとも協力し、スムーズな運営へ繋げ、イベントを支えた

八王子市・自治会・地元企業・福祉団体と協力！

「健康」をテーマに多様なプログラムを複数展開し、
地域の健康増進に大貢献！

／今年も地域団体の期待に応えて継続開催！／

「第2回さわやかノルディックウォーク」

あったらいいなをみんなでつくる
公園プロジェクト！

のべ121人が
参加！

■昨年、地域団体と連携し行った「ノルディックウォーク」イベントを継続開催！今年はプログラムをノルディックウォーク1本化にし、改めてノルディックウォークのニーズを捉えることに成功！



- 地域団体のイベントに対する主体性を促し「あったらいいな」企画により、地域住民の健康増進に貢献！
- 出発と到着を地元の太鼓団体による演奏で盛り上げた！

心のヘルシー

公園に図書館!園内の自然に囲まれた
陵南パークライブラリー継続開催!



のべ170人が
参加!

■八王子市中央図書館と連携し、自然に囲まれた園内で本を読める環境を提供!

220冊の本が
大人気!

- パークレンジャーがガイドウォークも実施。図書館から借りた生き物の絵本に絡めて園内の動植物を解説
- その他シャボン玉機やハンモックで楽しさを提供!



都立公園開園150周年記念事業
で桜の植樹を協働で実施!

■パッタランド前に八重咲の桜「松月」を来園者と共に植樹。以前から公園に問い合わせがあった「浅川で見られる松月を陵南公園でも見たい」という近隣住民の期待にも応えた



小さい子~ご年配の方、
海外の方も参加!

花壇ボランティア大活躍!
公園の花壇を彩る!



■花壇美化活動
「ボランティアDAY」
継続実施!

■陵南公園ボランティアガーデンサ
ポーターが陵南の花壇を華やかに!



「Gardening DAY」では高尾警察署と協力!
地域と連携し心を癒す花壇空間を提供!

2 身近な自然と地域を繋ぐ環境教育のフィールドとして貢献!



生態系のヘルシー

生き物レスキューDAY 初

親子で保全活動体験!

のべ130人が
参加!



生き物「も」過ごしやすい環境を持った公園へ!

●「カエル救出ボランティア」がプログラムを充実させ
「生き物レスキューDAY」へバージョンUP!

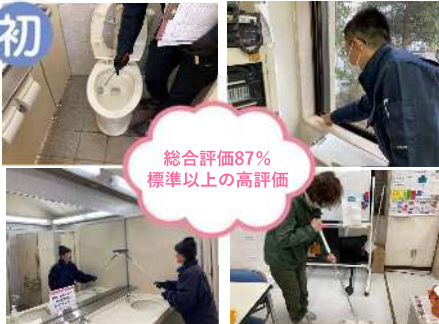
毎年実施しているカエル救出ボランティアを駒沢還元事業を活用し
プログラムを増やして保全体験をメインにした総合型のイベントへ!

- オンライン受付サービス「パスマーケット」を初導入! 申込が電話や窓口を介さずにWebで簡単に行えるように配慮!
- たき火やキッチンカーを呼んでカフェ空間を創出し公園を訪れた来園者に心地よい空間を提供!
- 子供が遊べるプレイコーナーも併設し、親子の満足度もUP!



3 清掃品質の見える化で
常に美しい施設へ

初



総合評価87%
標準以上の高評価

- ビルクリーニング品質インスペクターによる、サービスセンター及び園内3箇所のトイレの清掃状況の診断・評価実施!
- 診断結果を踏まえ清掃作業を行い、清掃・点検評価・改善を繰り返す。利用者に良好な衛生施設の提供と品質維持の向上に繋げた

その他の取組み

- 七夕など季節のセルフプログラムを実施(参加者:のべ553人)
- 地域防災イベント「防災フェスタ」に出展
- 八王子環境ネットワークに継続参加

4 植物や人に配慮した舗装
改修を実施!



■地表面を拡張して
根上がり防止!

■生活路としても利
用されるエリア

根切りはせず植物に配慮して舗装を行った。舗装面積を広くすることで、勾配が上がりすぎないように工夫した

5

コロナ禍明けのいちよう祭りを
地域と連携しバックアップ!



■昨年と比べ、参加者が約2倍となったコロナ禍明けのいちよう祭りを来店団体の開催までの準備や、当日の来園者の安全管理に徹底配慮し開催を支えた!



今年の来場者は
2日間で406,000人!
(※昨年は210,000人)
写真は好評だった
ピクニックガーデン

都立小宮公園



- ＜目標と取組方針（小宮公園マネジメントプランより）＞
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
 - ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
 - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する公園
 - ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
 - ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園
 - ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

環境教育
地域連携の拠点

【所在地】八王子
【開園面積】25.1ha

《環境教育・都民協働の拠点》地域と連携し、自然を学び体験できる公園

1 地域連携・アフターコロナ・DX 環境教育拠点事業がさらに進化！

- 八王子市高齢者あんしん相談センター、地域病院と共催の「青空体操@小宮公園」大好評のため定員を倍増。
八王子市の高齢者支援 DX「てくポ」で、ポイントもゲット！



- 八王子市高齢者サポートセンターが健康サポート、地域の大型病院が理学療法士を派遣し、フレイル（要介護）予防体操を指導。パークレンジャーがガイドウォークで自然の魅力を伝え、生きる活力UP!! スペシャルイベント「あきいろフェス」も大盛況！

- 雑木林ホールのワークスペースを4年ぶりに供用。特別展「夏だ！虫にあおう！」と合わせ、人気のスケッチコーナー、生き物展示も、アフターコロナで完全リニューアル！



- デジタルサイネージの導入、会議のオンライン化など様々な変化もあり、これらの対応できるよう、ほとんどの備品にキャスターを付け、多様な利用を可能に。ホール全体を柔らかな黄色とグレーでデザイン。清潔感があり、かつシャープに統一！

- 近隣小学校の総合学習で631人を受け入れ。感性、学び、保全作業のプログラムを提供

総合学習受け入れ631人



地域
小学生

- 八王子市「子ども・青少年育成センター」と共催のこどもシティに380人が参加薪割&たき火体験で、レンジャーがサステナブルなエネルギーを解説。



2 園内掲示、サイン、看板等を一新

■老朽化、あるいは情報が古くなった大型解説板などを新規作成、交換。園内の雰囲気も一新。公園利用者からもわかりやすく明るい雰囲気になったと好評。



小宮公園の動植物



3 甚大被害のナラ枯れに対し、危険エリアを速やかに閉鎖、徹底した安全確保の元、176本を伐採。アフターナラ枯れの保全をスタート。



■公園内の利用者頻度等により決定した優先エリアから順次伐採を行い、優先順位の低いエリアは協議の上、一時的に閉鎖。変化する状況に対応した安全優先の計画を立案し、計画通りに処理を実施。



4 遊具等の公園施設の予防保全を実施。安心・安全な利用環境を整備！

■住宅前広場にあるパーゴラの更新を実施。公園の見どころであるノウゼンカズラをそのまま残すために、ツルを傷つけずに撤去・設置を行った。



■遊具点検にて、複合遊具に部分割れ等を確認。使用不可判定は出ていないものの、予防保全のために全て改修を行い、事故を未然に防ぎ、子どもたちが安心して使えるようにした。



5 園内絶滅種ニホンアカガエル復活PJで昨年の9を上回る15卵塊の産卵を確認。流域全体をHOTSPOTに選定し、キッズレンジャーも初めて保全活動に参加。里山生態系を次世代とともに守る！



生物多様性HOT SPOTに大谷沢流域を選定（オレンジ色部分）



順調に産卵数を増やしているニホンアカガエルの卵塊



キッズレンジャーとアカガエル繁殖ビオトープを整備

その他の取組み

- ・ホスピタリティウィーク
- ・パークスキャン
- ・ランドスケープチェック
- ・犬のマナーアップキャンペーン
- ・ユニバーサル研修
- ・オリジナルグッズの販売
- ・歴史勉強会
- ・野鳥マナーアップキャンペーン

都立滝山公園

歴史伝承の拠点



＜目標と取組方針（滝山公園マネジメントプランより）＞

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

【所在地】八王子市
【開園面積】31.2ha

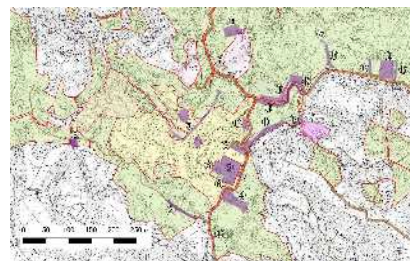
■《歴史体験拠点》地域提案型パークマネジメントを実現する山城公園

1 遺構を見せる維持管理で、山城の「きわだつ個性」を明らかに！

■ ほぼ全域が史跡である滝山公園では、一般の丘陵地公園では維持管理されない園路脇などに、中世山城の重要な遺構がある場合が多い。識者からのヒアリング等により、このような遺構を見せる草刈り等を、園内22か所で実施。多方面から評価を得た。



管理箇所	写真	説明	実施時期	実施回数
1. 中丸の丸		中丸の丸の遺構を見せるため、草刈りを実施する。	毎年5月	1回
2. 虎口跡		虎口跡の遺構を見せるため、草刈りを実施する。	毎年5月	1回
3. 櫓台跡		櫓台跡の遺構を見せるため、草刈りを実施する。	毎年5月	1回



遺構を見せる維持管理計画（一部）

整備された「中の丸」虎口付近の遺構（櫓台址。地域のNPO、八王子市文化財課の歴史ガイド等で活用された。計画作成、および詳細の調整については、「地域提案型パークマネジメント」の一環として、関係機関より広く意見を集めている。

二の丸東

大手門があったとも言われる二の丸三連土橋。守りの重要構造として、滝山城見どころの一つである。



二の丸南絶対防衛ライン

武田軍を退けたとされる滝山城最強の防御。高さ18mの急斜面をラジコン草刈り機で処理。



中学生への総合学習風景。遺構の迫力を伝えやすくなった。

武田軍が陣を張った拝島大師への眺望確保

高さ70mの河岸段丘上の樹木を伐採。北条、武田の両雄が対峙した、山城のスケールを体感。



視界を妨げていた木を伐採し、大人数でも拝島大師（円内）が見やすくなった。

2 地域連携で多彩なイベントを展開。地域一丸で滝山をアピール！

■八王子市など、地域で作る「滝山観光まちおこし実行委員会」に設立時より参画。多彩なイベントを展開。

公園主催
実行委員会共催

滝山城CAFÉ
滝山の秋のスペシャルティに！



滝山城文化協会(豚汁)、道の駅八王子(ウォーキングイベント)とも連携。

体育+環境教育
＝滝山城忍者学校



山城の構造を活かしたロールプレイ忍者修行が大人気！

公園共催
実行委員会主催

戦国イベントin 滝山城
ちゃんばらイベントが親子に人気！



山城で、体をいっぱい動かせ！
北条軍、武田軍激突！

歴史講演会+寸劇！



専門家の講演会と、楽しい寸劇。
満員の市民センターが沸いた！

3 ナラ枯れを計画的に対処



■入念な調査結果から、伐採計画を作成。
危険な園路、園地を閉鎖し、利用頻度の
高いエリアから優先的に対処。安全で、
効率よくナラ枯れに対処。

4 初のウォーキングイベント開催



■専門企業の構成員加入
で、スポーツ普及力UP！
山城で気持ちよく体を動かす。

5 4年かけた保全作業が成功。ツリフネソウ保全区最大の開花数。



■4年前、公園北口付近に広く繁茂していたオオブタクサを抜き、
クサギを植えて日照を制御、在来ツリフネソウなどの復活に
つなげた。

6 多様な東京都への協力



■地域NPOによる動力を使った作業に毎月立ち合い、危険
予知等に協力。安全な作業につなげた他、整備工事エリアの
希少種回収、移植など多方面で都の事業に協力

その他の取り組み

- ・エコロジカルネットワーク事業により、園内絶滅寸前だったアカマツが順調に育成
- ・計画的な園地閉鎖、伐採でナラ枯れ対処を安全に実施
- ・トイレ前のウエルカムプランターが好評

都立 大戸緑地



- <目標と取組方針(滝山公園マネジメントプランより)>
- ・民間活力の導入により新たな魅力を持った都立公園
 - ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
 - ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
 - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
 - ・自然と触れ合える場となる都立公園
 - ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園
 - ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

自然体験・マイクロ
ツーリズム拠点

【所在地】町田市相原町
【開園面積】28.4ha

■《自然体験・マイクロツーリズム拠点》豊かな生態系を活かした森林公園

森の魅力を活かした大戸緑地ならではの自然体験を多くの親子に！

1

地域とともに企画・運営「冬開きDAY」を開催

初の冬イベント開催で冬季の見所や魅力、参加者のニーズを新たに捉えた！

初

森の中での自然を活かしたプログラムで、自然体験の機会を提供

思い切り自然体験！多様な体験プログラム・

プログラムのべ83人が
参加!!



- 会場にクリスマスツリーを設置し季節感を演出！
- 近隣施設「Nature Factory東京町田」と初連携！市民団体ボランティアである大戸源流森の会とも連携し、3種のクラフトプログラムを展開！
- 冬の里山風景を楽しめる探検ワードラリー実施！
- 自然を全身で体験できる落ち葉プールが子供に大人気！落ち葉掃きの「ちょいボラ」も実施し集めた落ち葉はプールに入れてさらなる楽しみへ！

★園内清掃→ボランティア体験
→自然体験！！

2

地域イベント「大地沢自然交流
フェスティバル」にPRブース出展！

初

- 近隣施設Nature Factory東京町田主催のイベントに出展！「大戸緑地冬開きDAY」で築いた関係を強め地域に向けて大戸の魅力が大発信！



- 大戸緑地に生息する生き物の剥製やセンサーカメラの映像を上映。大戸のヤマアカガエルの卵塊やオタマジャクシも展示し環境教育の普及啓発にも貢献！

3

園内に自生している樹木類の移植を実施。
2本目のユクノキ後継樹も！

- シンボルツリー「ユクノキ」を次世代にむけてボランティア団体と後継樹を移植！！



- 5年振りに後継樹を移植！数年前から計画的に幼木を取り出し、条件がよい場所へ協働で移植！パートナーズと市民団体ボランティアと連携し、未来に向けて新たな見所の創出へ！



- ユクノキの他ウズミザクラなども移植を実施。見どころと植生を考えた園内作りへ！

3

健康プログラム実施で緑地の新たな魅力を創造。地域住民の健康増進に貢献！

- リラックスできる里山環境で体をリフレッシュできる
パークストレッチを実施

初



- 大戸緑地の美しい里山風景を直接感じることができるスポーツプログラムを提供！！
■自然のなかで運動すると気持ちいいと参加者から大好評！！
■今後も定期的な教室実施希望の声もいただいた

- 安全で運動効果の高いウォーキングとしてノルディック
ウォーキングを実施

初



4

多様な環境で生育する両生類の調査・保全を実施！



調査の様子



地中のタゴガエル

- 地中の伏流水で生活をする
タゴガエルの調査を実施。ファイ
バースコープを用いて地中のタ
ゴガエルを初めて撮影。タゴガ
エルの生息状況
及び伏流水環
境を把握する
ことができた。



- 水量の変化し
やすいハス池に
産卵されたヤマ
アカガエルの卵
塊を、危険分散
の観点から一部
を保護。晴天が
続く場合は池へ
の注水を計画。



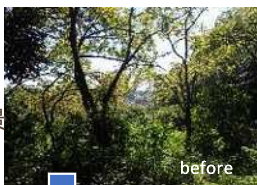
- ハス池脇のウツ
ギの保護を継続
実施。モリアオ
ガエルが産卵し
やすい環境を
維持し、産卵数
の増加に繋げる
ことができた。

両生類保全と併せて生息環境も把握し、多様な環境を保全へ！

5

関東山地を望めるスポットを再発掘

元々は地元住
民が花見花見
を楽しんでいた
が、春以外の景
観も楽しめるエ
リアへ



before

ランドスケープチェックで
景観維持の意見を出し合った

after



山桜のおか

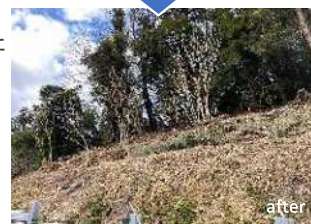
大戸緑地では様々な場所で関東山地の裾野が望める

6

地域住民の要望に迅速に対応



【要望】
住宅前の藪
の処理

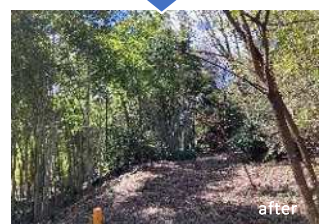


after

クマの隠れ場所をなくすと
ともに山林火災の危険性も低
くなった



【要望】
荒れた竹林
の整備要望



after

竹林整備のエリア拡張
美しい里山景観の維持に努
めた

その他の取組み

- ・近隣保育園の園外活動にて環境教育を実施
- ・地域の緑地活用イベント「ずしまちいち」に参加し大戸緑地の魅力をアピール
- ・大戸源流森の会の活動支援

収支状況

3 収支(単位:千円)				
		令和5年度	令和4年度	令和3年度
項目		金額	金額	金額
収入 計		288,324	302,699	239,050
内 訳	指定管理料	288,324	302,683	239,050
	利用料金	0	0	0
	その他収入	0	16	0
支出 計		288,324	302,699	239,050
収支差		0	0	0